

3	少林寺拳法
ビジョン	技だけの上達を目指すのではなく、相手(パートナー)の気持ちも考えてお互いに上達する。
ゴール	種々の技を取り交ぜた演武発表ができるようになる。
理由	関節技(柔法)、突き、蹴り(剛法)の練習は二人一組でお互いに攻者、守者となって練習するので、お互いに相手の気持ちを察することができるようになる。
知の成果物	演武会、ビデオ
身につく力(目的)	暴漢に遭った場合など身の危険に遭遇した場合に、とっさに自分の身を護る行動がとれる。
学習の内容	関節技(柔法)、突き、蹴り(剛法)をわかりやすく解説しながら指導されるので、初心者でもいつの間にか技が会得できる。
活動の特徴	前愛知県少林寺拳法連盟理事長、三好道院長である深谷先生がユーモアを交えながら理論的に指導されます。
班主任名	浅田恭生 医療科学部 放射線学科
<初回>活動場所	アセンブリホール3F
<通常>活動場所	
<雨天時>活動場所	